保存版

白浜町
富田川洪水ハザードマップ

富田川の洪水浸水想定および避難情報

早めの避難があなたの命を救います。

洪水ハザードマップに整理した内容

- 想定最大規模（富田川流域の 24 時間総降雨量 838mm）の条件で計算
- 富田川の氾濫計算結果（浸水した場合に想定される水深、家屋倒壊等氾濫想定区域（氾濫流）、家屋倒壊等氾濫想定区域（河岸侵食））
- 洪水時避難場所（指定避難所、避難ビル）
- 一時的な緊急避難場所、避難経路
- 洪水情報および避難情報のながれ
- 重要水防箇所
- 土砂災害警戒区域・特別警戒区域

白浜町

洪水ハザードマップ

洪水ハザードマップとは

「洪水ハザードマップ」とは、洪水時における被害を最小限にくい止めることを目的とし、予想される浸水の程度や避難情報等の各種情報をわかりやすくマップに表示して、緊急時の避難に役立てるものです。

「洪水ハザードマップ」の内容

「洪水ハザードマップ」には、富田川が大雨によって増水し、溢水（いっすい：水があふれる）、破堤（はてい：堤防が壊れる）した場合の洪水の広がる広さや深さの程度、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）等の発令のタイミング、避難場所などを示しています。

また、地域の特性に応じて避難時に活用できる情報として、避難経路や土砂災害の危険箇所なども示しています。

洪水浸水想定区域について

このマップに示した洪水浸水想定区域（浸水範囲と想定される水深）は、和歌山県が令和2年2月18日に公表した「想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図」を基に作成したものです。

■ 洪水を予想するための雨の量…… 富田川流域の24時間総雨量８３８mm

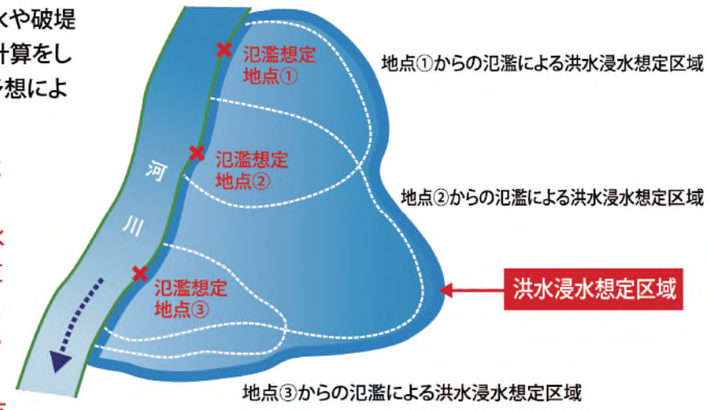
マップの見方と注意事項

■このマップに示した浸水の範囲や深さは、溢水や破堤のおそれのある地点を設定し、地点ごとに氾濫計算をした後、それらの結果をすべて重ね合わせ、浸水予想による最大の範囲・深さを表示したものです。

<洪水浸水想定区域が指定されていない区域における浸水の可能性について>

洪水浸水想定区域は、外水氾濫によって、浸水が想定される区域を示すものであり、合流する支川の氾濫、高潮、内水による氾濫などが発生した場合には、洪水浸水想定区域以外の区域においても浸水するおそれがあります。

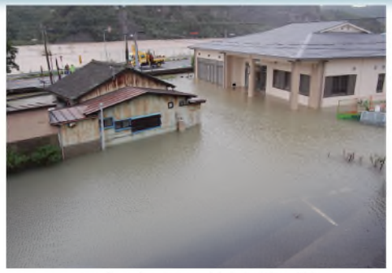
したがって、浸水予想範囲の近くにお住いの方も、念のため避難してください。



洪水・氾濫について

■川からの水が直接あふれる「外水氾濫」や、街や農地などに降った雨がたまったり、支川の水があふれる「内水氾濫」があります。

近年は、過去に経験したことのない水害が発生しています。浸水の深さだけでなく、流れの速さにも十分に注意が必要です。

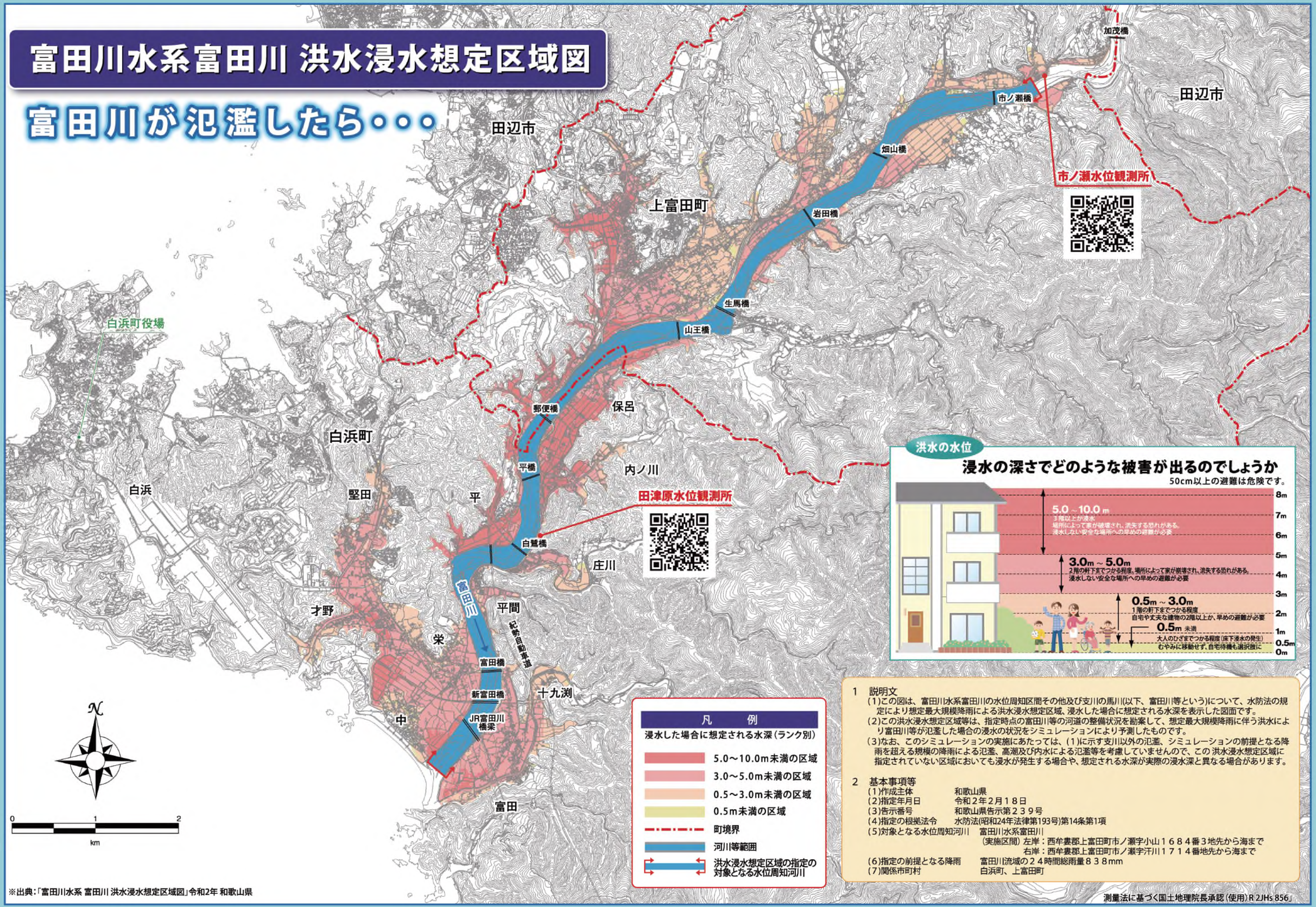


平成23年9月4日 外水氾濫の状況
（富田川：平間地区 道路より溢水）

平成23年9月4日 内水氾濫の状況
（富田川：庄川地区 支川より溢水し冠水）

富田川水系富田川 洪水浸水想定区域図

富田川が氾濫したら・・・



※出典：「富田川水系 富田川 洪水浸水想定区域図」令和2年 和歌山県

洪水の水位

浸水の深さでどのような被害が出るのでしょうか

50cm以上の避難は危険です。

凡　例

浸水した場合に想定される水深（ランク別）

- 5.0～10.0m未満の区域
- 3.0～5.0m未満の区域
- 0.5～3.0m未満の区域
- 0.5m未満の区域
- 町境界
- 河川等範囲
- 洪水浸水想定区域の指定の対象となる水位周知河川

1　説明文

（1）この図は、富田川水系富田川の水位周知区間その他及び支川の馬川(以下、富田川等という)について、水防法の規定により想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。

（2）この洪水浸水想定区域等は、指定時点の富田川等の河道の整備状況を勘案して、想定最大規模降雨に伴う洪水により富田川等が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。

（3）なお、このシミュレーションの実施にあたっては、（1）に示す支川以外の氾濫、シミュレーションの前提となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、高潮及び内水による氾濫等を考慮していませんので、この 洪水浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2　基本事項等

（1）作成主体　和歌山県
（2）指定年月日　令和２年２月１８日
（3）告示番号　和歌山県告示第２３９号
（4）指定の根拠法令　水防法(昭和24年法律第193号)第14条第1項
（5）対象となる水位周知河川　富田川水系富田川
（実施区間）左岸：西牟婁郡上富田町市ノ瀬字小山１６８４番３地先から海まで
右岸：西牟婁郡上富田町市ノ瀬字汗川１７１４番地先から海まで
（6）指定の前提となる降雨　富田川流域の２４時間総雨量８３８mm
（7）関係市町村　白浜町、上富田町

測量法に基づく国土地理院長承認（使用）R 2JHs 856」

我が家の防災メモ

通報メモ

●通報の種類	○（事故・火事・救急）です。
●住所・名前	○白浜町　（　　）の（　　）です。
●現在の状況	○（誰が、何が、どうなっています。）
●近隣の目標物	○近所に　（　　）があります。
●電話番号	○電話番号は　（　　）です。

緊急時の連絡・問い合わせ先

●事件・事故の急報	110番	●電気関係	
●火災・救急・救助の急報	119番	●ガス関係	
●救急医療情報センター	073-426-1199（病院紹介）	●水道関係	
●災害用伝言ダイヤル	171番	●電話関係	
●天気予報	177番	●	
●もよりの病院		●	

家族の安否確認先

●避難場所					
●集合場所					
●緊急連絡先（親戚・知人等）					
●家族の連絡先	名 前	生年月日	血液型	会社・学校の住所	電話（会社・学校・携帯）

日ごろの準備

●自宅（周辺）の状況	□川の浸水のおそれあり（浸水の深さ：　～　m） □土砂災害のおそれあり（□崖くずれ（急傾斜地）　□土石流　□地すべり）			
●避難する場所	場所①……避難方法：□車　□徒歩　□（　　）　時間：約　分） 場所②……避難方法：□車　□徒歩　□（　　）　時間：約　分）			
●避難の目安（タイミング）	……とき			
●備蓄品（非常時持ち出し品）※できれば一週間分	**生活用品**	**衣類・防寒着**	**水・非常食**	**貴重品**
	□懐中電灯	□下着類	□水（1人1日3ℓ）	□現金
	□携帯電話（充電器）	□衣類（長袖）	□非常食、アメなど	□公衆電話用の硬貨
	□携帯ラジオ	□軍手（手袋）	□使い捨て食器	□健康保険証・免許証
	□予備の電池	□毛布、寝袋	□割りばし	□車や家のカギ
	□ナイフ、缶切り	□雨具	**医薬衛生用品**	**その他**
	□ローソク、マッチ	□防寒具	□マスク	□ヘルメット
	□ビニール袋	□タオル（大・小）	□持病の薬	□筆記用具
	□ティッシュペーパー	□	□除菌シート	□生理用品
	□トイレットペーパー	□	□救急セット、体温計	□おむつ
	□歯ブラシ	□	□石鹸、シャンプー	□粉ミルク、哺乳瓶
	□眼鏡、コンタクトレンズ	□	□おくすり手帳	□入れ歯、洗浄剤、補聴器

最後の確認　※浸水が始まってからの避難や夜間の避難は非常に危険です

●最後の確認	□避難所の開設状況	□火の元、戸締り	□備蓄品は持ったか	□暗くなる前の避難
	□雨が強くなる前の避難	□避難先を家族に連絡	□もし避難できなかったらどうするか	

被害を抑えるために

家の周りを点検しよう

□ 家の周りの排水溝がビニール袋や落ち葉でつまっていないか確認しよう。
□ 風で吹き飛ばされるものがないか確認しよう。
□ 道路に物をおいて、排水の邪魔をしていないか点検しよう。

簡易水防

□ 玄関など、水が入りやすい場所に、長い板を置いて、土のうで抑えて、止水板を作る方法があります。
□ 玄関などの水が入りやすい場所に、ブルーシートを敷いて、段ボールや長いプランターなどに、ゴミ袋に水を入れた「水のう」をおいて、ブルーシートで包めば、水の侵入をある程度防ぐことができます。

助け合って避難しよう

二人以上で避難しよう

□ 一人は、とても危険です。できるだけ二人以上で避難しよう。
□ 避難時には、隣近所で声をかけあって、逃げ遅れる人がいないように、助け合おう。

日ごろから避難訓練をしよう

□ 地域での避難訓練があれば、参加しよう。
□ 散歩のときや天気の悪い日などに、実際に避難場所まで歩いてみて、避難場所が安全か、どのくらいの時間がかかるか確認しておこう。

災害時に配慮が必要な人を支援しよう

□ 高齢者や、病気の方、身体が不自由な方など、逃げることが困難な方が近くにいたら、助け合って、早めに避難しよう。
□ 日本語が通じない、観光客や外国の人が近くにいたら、イラストや手ぶり、翻訳アプリなどを活用して安全な場所に避難するように促そう。

災害時の情報の入手方法と緊急連絡先

インターネットによる「川の防災情報」

和歌山県河川／雨量防災情報	防災わかやま	和歌山地方気象台	川の防災情報（国土交通省）
http://kasensabo02.pref.wakayama.lg.jp/	http://bousai-portal.pref.wakayama.lg.jp/	https://www.jma-net.go.jp/wakayama/	https://www.river.go.jp/portal/

災害時の緊急連絡先

警察	消防・救急	白浜消防署	日置川消防署	町災害対策本部（設置時）
110	119	0739-43-0119	0739-52-3061	0739-43-5555（代）

安否の確認などの連絡に

NTT災害用伝言ダイヤル　171　ご利用にあたっての事前契約などは一切不要です。
家族間や知人間などの連絡に活用できます。　市外局番からダイヤルしてください。

伝言の録音方法　171 → 1 → 000 000-0000（ガイダンスが流れます／被災地の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の方の電話番号を）

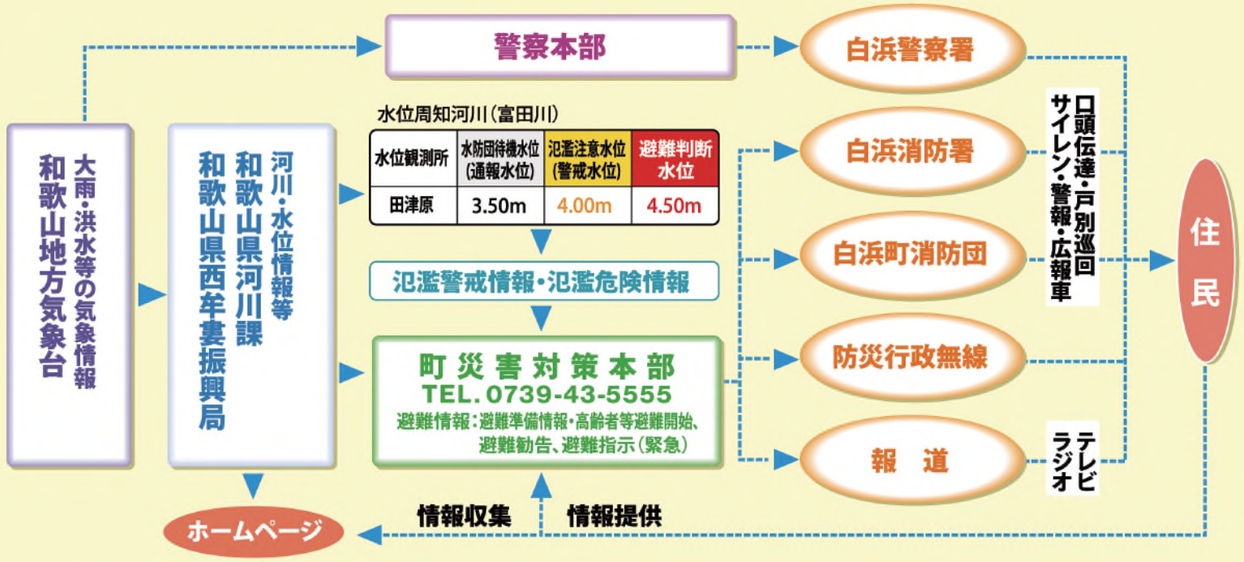
伝言の再生方法　171 → 2 → 000 000-0000（ガイダンスが流れます／被災者の方はご自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の電話番号を）

発行：白浜町役場 地域防災課
〒649-2211　和歌山県西牟婁郡白浜町1600番地
tel. 0739-43-5570　fax. 0739-43-5353
令和３年３月
http://www.town.shirahama.wakayama.jp/
mail:bousai@town.shirahama.lg.jp

白浜町の情報

白浜町ホームページ	白浜町facebook	しらはま安全安心メール	白浜町防災情報電話（自動再生）
http://town.shirahama.wakayama.jp/	https://www.facebook.com/shirahamatown/	bousai.shirahama-town@raiden2.ktaiwork.jp「空メールを送信し、返信メールから配信登録を行ってください。」	050−5433−9158 ※通話料がかかります

洪水情報のながれ

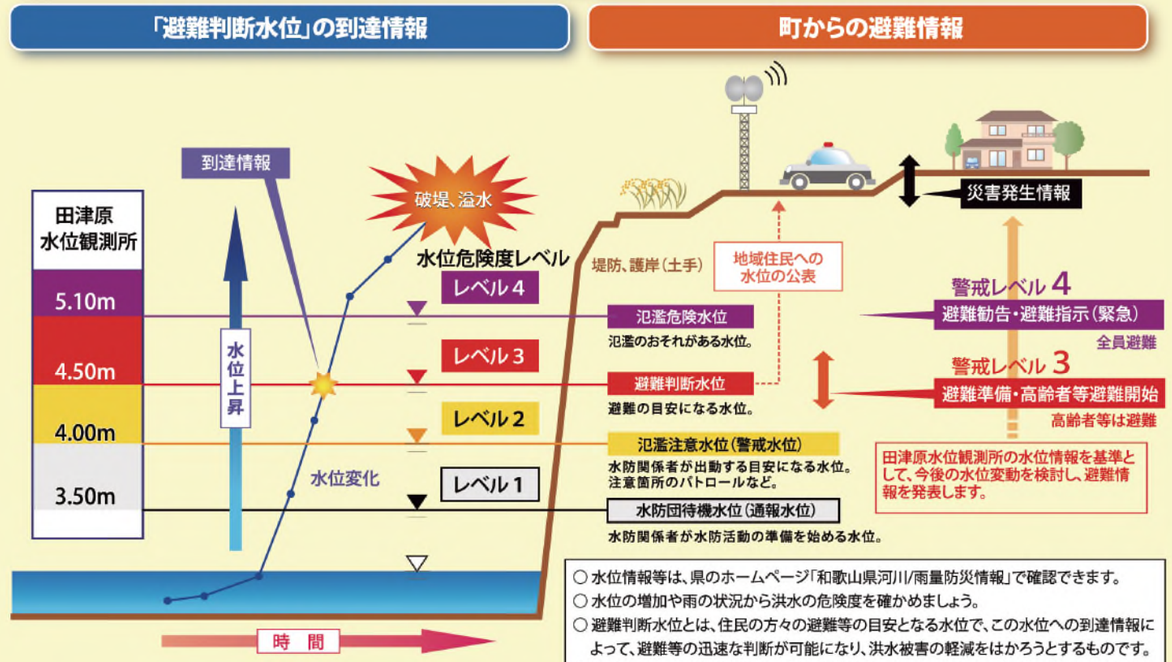


（令和３年３月時点）

	気象状況		町の対応	住民が取るべき行動	警戒レベル
数十年に一度の大雨	大雨特別警報	氾濫発生情報	災害発生情報 ・大雨特別警報発表時は、避難勧告等の対象範囲を再度確認	危険な区域からまだ避難できていない方は、 命を守るための最善の行動をとる ・大雨特別警報発表時には、災害が起きないと思われているような場所でも危険度が高まる異常事態であることを踏まえて対応する	5 町が発令
▲	土砂災害警戒情報	極めて危険 / 非常に危険 氾濫危険情報	避難指示(緊急) ※緊急的または重ねて避難を促す場合等に発令 避難勧告	速やかに避難 ・危険な区域の外の少しでも安全な場所に速やかに避難 避難を完了 ・道路冠水や土砂崩れにより、すでに避難が困難となっているおそれがあり、この状況になる前に避難を完了しておく	4 町が発令
大雨の数時間～2時間程度前	※1 大雨警報 洪水警報	警戒（警戒級） 氾濫警戒情報	避難準備・高齢者等避難開始 （警戒準備態勢） （災害対策本部設置） （避難準備・高齢者等避難開始発令）	土砂災害警戒区域等や急激な水位上昇のおそれがある河川沿いにお住いの方は、 避難準備が整い次第、避難開始 高齢者等は速やかに避難	3 町が発令
大雨の半日～数時間前	大雨警報に切り替える可能性が高い注意報 大雨注意報 洪水注意報	注意（注意報級） 氾濫注意情報	（警戒準備態勢） （避難準備・高齢者等避難開始発令を判断できる体制）	ハザードマップ等で避難行動を確認	2 気象庁発表
▲ 大雨の数日～約1日前	早期注意情報（警報級の可能性）		・心構えを一段高める ・職員の連絡体制を確認	災害への心構えを高める	1 気象庁発表

※1 夜間～翌日早朝に大雨警報(土砂災害)に切り替える可能性が高い注意報は、避難準備・高齢者等避難開始(警戒レベル3)に相当します。
参考:「避難勧告などに関するガイドライン」(内閣府)に基づき作成した気象庁の資料を一部修正

「避難判断水位」の到達情報および町からの避難情報のながれ



○ 水位情報等は、県のホームページ「和歌山県河川/雨量防災情報」で確認できます。
○ 水位の増加や雨の状況から洪水の危険度を確かめましょう。
○ 避難判断水位とは、住民の方々の避難等の目安となる水位で、この水位への到達情報によって、避難等の迅速な判断が可能になり、洪水被害の軽減をはかろうとするものです。
○ 町は、県からの「避難判断水位」の到達情報等を受けて、降雨の情報などを総合的に勘案し避難情報（避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急））を発表します。

<町からのよびかけの内容>

避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）の３段階でお知らせします。

避難情報の種類	町からのよびかけ内容	住民のみなさんがとるべき行動
避難指示（緊急）	緊急放送、緊急放送 こちらは防災白浜です。河川の増水により氾濫の危険があるため避難指示（緊急）を発令します。 警戒レベル４です。 緊急に、避難を開始してください。開設している避難所は○○、△△です。 【現場に警察官や町職員・消防職員・消防団員がいる場合には、その指示に従って落ち着いて避難してください。】	指定された避難所に直ちに避難しましょう。 浸水等の影響により避難ができない場合は、近くの丈夫なできるだけ高い建物に避難しましょう。
避難勧告	こちらは防災白浜です。 河川の増水により氾濫の危険があるため、避難勧告を発令します。 警戒レベル４です。 速やかに、避難を開始してください。開設している避難所は○○、△△です。 【現場に警察官や町職員・消防職員・消防団員がいる場合には、その指示に従って落ち着いて避難してください。】	避難時には、隣近所で声を掛け合い、お互いに助け合って、指定された避難所に速やかに避難しましょう。単独での避難は危険です。 避難時は、浸水箇所や土砂災害に注意しましょう。
避難準備・高齢者等避難開始	こちらは防災白浜です。 河川の増水により氾濫の危険があるため、避難準備・高齢者等避難開始を発令します。 警戒レベル３です。火の元、戸締りを確認し、避難に時間のかかる方は、避難を開始してください。 その他の方は、いつでも避難が開始できるよう準備してください。 開設する避難所は○○、△△です。 【避難をする際の荷物は、背負うなり肩に掛けられる程度の最小限の非常用持出品にとどめ、両手を空けるようにしましょう。】	お年寄りや子供とその支援者は避難を開始しましょう。 それ以外の人もいつでも避難できるよう準備し、早めに避難を開始しましょう。

避難準備情報が出される前に自主避難する方は、事前に役場へ連絡してください。
町災害対策本部　TEL 0739-43-5555（代）

※町災害対策本部が設置されていない場合は
役場地域防災課　TEL 0739-43-5570（直通）